

2003年7月20日

日中かわぐち

日中友好のしんぶん

日本と中国



昭和42年2月6日 第三種郵便物認可
発行所 川口市日本中国友好協会
川口市上青木西1-20-3
TEL 048-253-2177

初めての中国旅行

川口市日中友好協会副理事長

石塚 栄

「中国へ旅行に行きたい。」と夢を描いていました。そんなある日、理事長をしていた、坂本隆太郎氏と知り合い、日中友好協会に入会しました。

初対面の印象は、太っていて、その上声が大きくて、とても『怖い』人でした。

坂本氏の紹介で、日本中国帰国者友好会訪中団の団員として、訪中する機会に恵まれました。

一九七八年八月十二日。日本国と中華人民共和国との、平和友好条約が締結された年の、十月四日から十八日まで、一五日間。北京―ハルビン―牡丹江―鏡泊湖―長春―吉林―豊満ダム―長春―北京。長谷川正団長以下二十八名。団員の殆どの人が

留用された軍人です。女性団員六名の中で、四人が、昭和二十八年頃まで従軍看護婦として、中国解放軍と行動を共にしていました。男性は、技術者として中国の建国と発展に貢献されました。

飛行機が、中国本土の上空に近づき領土の輪郭が浮かび上がると、私を除いて全員が、声を上げて泣いていました。空港に着陸するまで、中国で体験した貴重な思い出が、次から次へと溢れてくるのでしょうか。

空港に到着して、中国の大地を踏みしめた時、「ついに中国に帰国できた」。そして感動して何度何度も踏みしめていました。祖国日本に帰国できずに、異国

の土に埋もれ果てた人々、帰国した後第二の故郷である中国訪問を、高齢のために、病弱のために、望郷の念をもちながら日本でなくなられた人たち、同志の人々の無念を思っ、その人たちの代表として、今回の訪中が実現したよろこびに感激している人々が美しく見え、北京空港のロビーには、中国の老朋友十数人が、同志との再会に。熱い歓迎の握手を繰り返して、肩を抱き合って、出迎えてくれました。

北京市のレセプションは、中日友好協会副会長の孫平化氏が特別に謁見されました。「中国に長い間、留用された皆さんは、中国にとって大恩人です。日中友好運動に積極的に参加され、新しい中国の建設のため、今後とも、同志として活躍していただきます。ここに謝意を表し、歓迎いたします」。記念撮影の後、宴会に入ると全員で腕を

組んで、「革命歌」と「解放軍の歌」の大合唱をくり返し、祝宴は大いに盛り上がり、忘れられない一夜を過ごしました。

次の日は、北京市内観光で、故宮―明の十三陵―万里の長城を見学しました。

十月六日の十時に北京空港から中型旅客機で、ハルピンに行き、午後から、松花江へ江上遊覧をしました。懐かしい第二の故郷の風景に、感激して誰もが離れて、船上から流れ行く風景に、涙ぐんで、そつとハンカチで目頭を拭いていました。船の上は、無口になった人々が、青春の思い出を回想しているようです。

十月七日、早朝、ハルピンから汽車で牡丹江に行きました。ハルピンから先は、当時国交が回復しても、一般に開放されて無く私達訪中団が、戦後初めてだそうです。まだ反日感情が強く、写真撮影は禁止されていた

した。宿泊ホテルも無く、中国解放軍の基地の兵舎に、宿泊しました。兵営からの外出は認められず、軍人さんと一緒に、食事をしました。次の日の朝、兵舎を出発して、鏡泊湖に向いました。なだらかな丘の上で、休憩をしたときに、この地で眠る日本人の慰霊祭をささやかに、行いたいと希望しましたが、反日感情を考慮して中止してほしいと要求されました。やむを得ず、持参したお線香とワンカップのお酒、お菓子、日本の煙草等、お経本と一緒に、地中に埋め、全員で合唱して静かな慰霊祭を行いました。中国側のスタッフも、黙認して私たちの帰りを待っていました。

一九七八年の十月。あれから二十五年が過ぎました。初めての私の中国旅行は、日中友好の原点からの、出発の旅行であり現在も続いています。

病癒え 雑草を抜く 誕生日

二〇〇三年六月二十八日生まれ

れの六十八才になりました。

石塚 栄

日中平和友好条約締結二十五周年記念

川口市市制施行七十周年協賛

川口市日中創立三十周年記念

中国四川省川劇 「白蛇伝」 公演

今年は、皆様もご存知のように当協会創立三十年の記念すべき年にあたるとともに、日中平和友好条約締結二十五周年の節目の年でもあります。それを記念して、十一月十五日（土）午後二時、午後七時の二回、川口市市民会館で中国四川省の伝統戯劇である川劇「白蛇伝」の公演を行います。

は川口だけでそのほか一番近い処でも静岡です。他では公演が予定されていません。川劇といえば一瞬にして顔が変わる「変面」が大変有名で、京劇と共に世界的にもその名を知られています。

この機会に是非本場中国の川劇「白蛇伝」をご覧ください。その他、京劇、雑技等も演技されます。

川劇の日本での公演は大変珍しく、今回の公演はこの辺で

たたら祭りでの

恒例「水餃子販売」

今年も、八月二日（土）、三日（日）に行われるたたら祭りで水餃子販売を行います。

このたたら祭りでの水餃子販売は、（協）川口鋳物海研会、中国人研修生、川口市日中の三者で行うもので、ここ数年はたたら祭り名物の水餃子としてすっかり定着しました。



売上金の一部は当協会が中国に対して行っている教育支援事業の資金に充てられます。

中学校卓球部指導

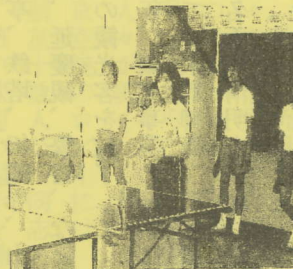
コーチ 鄭 慧萍

私は中国山西省出身です。

卓球のプロコーチです。日本全国で指導をしているのですが、川口市の中学生の指導は川口市日中友好協会のご好意による事で、私も日中友好の掛け橋になるように特別な思いで頑張ろうと張り切ってやっています。

指導をはじめて三年、少しずつ成果は出てきています。一昨年、昨年から指導していた所は、基本技術もフォームもとてもよくなり、上達しました。最初に行った時、生徒たち皆さんが緊張しているせいか、こちらから話し掛けても、あまり答えず、挨拶する時も、声が小さかったり、手を上げて質問をする生徒さんは殆ど居ませんでした。中学生はシャイだなと感じていま

が全く違って、積極的に自分の聞きたい事とやりたい事をぶつけてきて、とても元気良くやっています。



今年は愛ちゃんの活躍のせいか、昨年より卓球部員が大幅に増えています。彼女の頑張りを見て、同じ中学生として共感する所があったと思います。

スポーツに限らず、勉強でも積極的に自己アピールをして、目標を立て、それに向かってまっしぐらという中学生本来の姿をもっともっと表面に出して、頑張っていたきたいと思っています。

日本卓球協会公認

レジスタード・プロコーチ

元中国代表選手

した。厳しく言えばちよつと元気が無いなど、スポーツをやっている中学生なら、元気が有り余って、疲れ知らずのはずですが、と感じつつも、まず自分がとても元気にやっている姿勢を見せながら指導をしているうちに、少しずつ活気が出て、大体チームのエースが先に出てきて、徐々にその次にうまい子が出て、最終的に一年生の初心者も手を上げて質問をしたり、打って見たりする様になり、いつものパターンで、指導が終わります。意欲はありますがなかなか最初から表面に出せない感じでした。中国は日本と違って、競技スポーツは、専門のコーチがスポーツ学校で選手養成をするというシステムで選手たちの心構えが違うのでしよう。でも日本の中学生たちも本当はすごく強くないかと思うのではないのでしょうか？二回目、三回目と指導する所では、最初と雰囲気

SARS 募金活動

川口市日中では、(社)日中友好協会、埼玉県日中友好協会が行ったSARS募金の呼びかけに協力し当協会として十万円を寄付しました。これ以外にも法人会員や個人から三万五千円集まりました。このお金は県協会を通して山西省に送られます。

酒井

中国語教室懇親会

全クラス合同の秋季懇親会を企画いたしました。今回はじめての一泊二日のバス旅行です。他のクラスの人や講師の方々と日光江戸村にて江戸の情緒に浸り、夜はゆつくりと温泉に浸かりながら親睦を深めましょう。皆様の参加お待ちしております。

○平成十五年九月十四日～十五日

○宿泊地 日光鬼怒川温泉

「おおるり」

○参加費 一人 一万円

*メ切八月二十日先着30名

内野

活動日誌

三月十九日 入門修了式

三月二十三日 講師説明会

四月四日 入門開講式

五月十日 にはお編集会

五月十九日 大使館訪問打合せ

五月二十四日 県協会理事会

六月一日 県協会留学生説明会

六月六日 毛大使夫人による夕

食会

六月十五日 にはお発行

六月二十日 市内十校卓球指導

終了

六月二十五日 日中かわぐち編

集会

七月八日 関・鄭参事官歓送

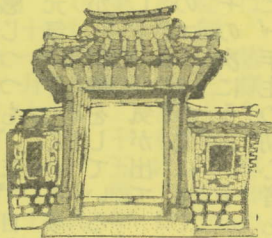
迎会

故郷紹介

夢の都——開封

入門B講師 韓冬黎

開封市は中国の中東部、黄河の中下流に位置しております。中国の六大古都の一つに数えられ、二七〇〇年程の歴史を持っている有名な歴史的、文化的な都市です



戦国時代の魏、五代時期の後梁、後晋、後漢、後周及び北宋と金氏はそれぞれこの地に都を定め、全国の政治、経済、文化の中心地として一六八年間つづ

きました。当時の人口は百万を超え、世界的にも、もっとも大きな、繁栄したまちの一つでした。当時の人々に「京の富は天下無し」と謳われていました。

現在、開封市総人口は四百六十万、総面積は六千四百四十四平方キロメートルで、名勝旧跡が至るところにあります。その中、国に指定された文化財は六ヶ所、省に指定された文化財は一七ヶ所あり、有名な観光都市としてよく知られています。

竜亭、鉄塔、相国寺、山陝甘会館、延慶観、繁塔、など毎年大勢の観光客を魅了しています。近年、観光事業の発展にしたがって、宋都御街、天波楊府、特に名画「清明上河図」を復元した「清明上河園」というテーマパークなどが、地下に眠っている一千年前のまちの繁栄振りをよみがえらせています。

皆さん是非遊びに来て中国の歴史を堪能してください。